



The 28th Annual Meeting of the Japan Society for Respiratory Care and Rehabilitation
第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

アフタヌーンセミナー 4

Afternoon Seminar

2018 年

日時

11 月 **9** 日 (金) **16:00** ~ **16:50**

会場

F 会場 幕張メッセ 国際会議場 3F 「国際会議室 303」
〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2 丁目 1

間質性肺炎患者に対する 呼吸リハビリテーションと酸素療法

座長

蝶名林 直彦

聖カタリナ病院 院長

演者

有菌 信一

聖隷クリストファー大学

リハビリテーション学部 理学療法学科 教授



第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

アフタヌーンセミナー4

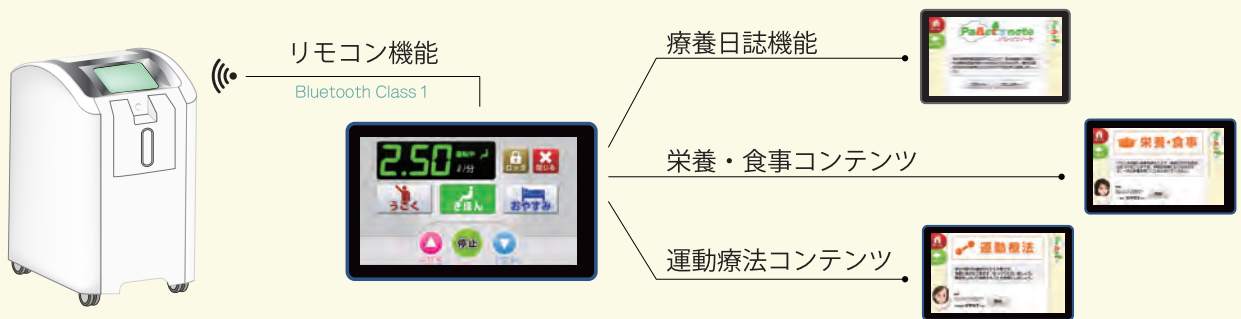
間質性肺炎患者に対する呼吸リハビリテーションと酸素療法

聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 理学療法学科 教授

有蘭 信一

特発性肺線維症（IPF）を含めた間質性肺炎（ILD）患者に対する呼吸リハビリテーション（PR）は、6-12 週間の短期効果の報告がほとんどである。短期的な PR プログラムはILD 患者の運動耐容能や呼吸困難、健康関連 QOL を改善させることが報告されている。これまでのILD 患者の報告から、PR が効果的な条件としては、larger FVC、less exercise-induced SpO₂、lower RVSP、lower 6MWD、mMRC grade 1 or 2 が挙げられる。ILD の中でも IPF 患者の PR の効果は、no-IPF 患者と比べて改善量が乏しいという報告も散見される。我々は IPF 患者に対して、COPD 患者と同一内容の PR プログラムを 10 週間実施した結果、運動耐容能や呼吸困難、健康関連 QOL に改善を認め、COPD 患者と同様の効果を得ている。PR を実施していく上で、IPF 患者では運動耐容能や運動制限因子の検出などが重要な評価項目となる。運動耐容能や労作時低酸素血症は、IPF 患者の予後に強く影響しており、評価は重要である。IPF 患者は労作時の低酸素血症が強く現れ、進行に伴いさらに低酸素血症は悪化し、運動療法の制限因子となる。運動療法を上手く進められない IPF 患者には、酸素療法を併用し、インターバルトレーニングなどを組み合わせて、負荷量を調節して運動療法を実施していく工夫が必要である。臨床現場では、労作時低酸素血症を認める IPF 患者には酸素療法を併用しながら運動療法を実施している。しかし、Cochrane Reviews では IPF 患者の酸素療法の短期的効果を示すエビデンスは乏しいとされている。IPF 患者に対する運動療法と酸素療法の効果について自験例を交えて解説する。

「あったらいいな」から生まれた高機能タブレット型リモコン 在宅酸素療法の環境がより安心で、とても便利になりました。



もっと診る。診つづけられる。「かかりつけ強化」システム

対面診療を効果的に補完し、よりよい診療につなげていく

オンライン診察



医師と患者さんでの
ビデオ診察を提供

モニタリング



患者さんの生活情報を
継続的に捉える

オンライン問診



CAT™、mMRCでCOPDの
重症度を経時的に把握